

日・シンガポール教育分野における二国間会談 共同サマリー（仮訳）

日本国文部科学省

シンガポール教育省

2026 年 7 月 23 日 シンガポール

日本の中村裕之文部科学副大臣とシンガポールの Desmond Lee 教育大臣は、2026 年 7 月 23 日に開催された「第 8 回 ASEAN+3 教育大臣会合」の機会に際し、会談を行った。

双方は、両国間の教育分野における強固な関係を確認するとともに、2026 年 3 月に日・シンガポール外交関係が戦略的パートナーシップへと格上げされたことを踏まえ、教育協力の一層の強化に取り組むことを確認した。

両者は、AI やデジタル化の進展を背景に、社会がより複雑化し急速に変化する中、学力の向上に加え、人格の形成、社会情動的スキル、心身の健康をバランスよく育む全人的発達のための教育の重要性が一層高まっているとの認識を共有した。こうした全人的な教育により、児童生徒は新たな技術を理解し、適切に活用していくために主体的に考える力を身に付けることができる。

さらに、両者は、2030 年以降の持続可能な社会においてウェルビーイングが中心概念となる中、健康や幸福は個人の行動のみで実現されるものではなく、他者との前向きな関係や社会への積極的な関与に大きく依拠するとの認識を共有した。これらは、全人的な発達のための教育が果たす重要な役割を改めて示すものである。

両者は、日本及びシンガポールにおける全人的な発達のための教育実践が、人間の多面的な発達を支え、児童生徒と教師、仲間、さらには地域社会との間における良好な関係の形成に資することについて意見交換を行った。また、非認知能力や社会情動的スキルに関する国際的な知見も参照しつつ、こうした実践に関する二国間交流を一層深化させることで一致した。さらに、こうした協働の取組は、共同体に根差した相互扶助を重視する ASEAN の文化的伝統とも軌を一にするものであるとの認識を示した。

両者は、日本の国立教育政策研究所（NIER）とシンガポール国立教育研究所（NIE）との間の研究協力、特に学校における生徒のウェルビーイングの向上に関する取組を歓迎した。

両者は、全人的発達やウェルビーイングに関する両国の共通の見解が、地域及び国際的な議論とも相互に補完し合うものであるとの認識を共有した。また、ASEAN+3 教育大臣会合等の関連会合の機会に、これらの考え方を共有していくことへの関心を表明した。今後、両国は、教育の未来の在り方に関する国際的な議論の動向にも目を配りつつ、適宜これに参画していく。

日本とシンガポールは、教育を通じて児童生徒の全人的な発達と社会の持続可能な発展を支えるとの共通のビジョンの下、今後とも緊密に連携していく。